

加配價格新舊米配

冬將軍を迎へての郡下十月中の木炭生産は割當十八万八千百俵に對して僅か四十一ヶ羽の七萬四千六百四十四俵に過ぎず、既引上を断行せぬ限り今冬は寒い想ひをせねばならぬなり當局の緊急對策が注目視されてゐる生産實績左の通り(括弧内は割當俵數、單位俵)

▼箕輪村六八〇(二、七〇〇)
▼磐崎村三、三〇四(三、六〇〇)
▼内郷町五四八(七二〇)、▼大野村一、〇〇〇
(六〇〇)、▼鹿島村二二八(三〇〇)、▼水戸村一一、五九二(三〇〇〇〇)、▼澤渡

村六八〇(六、七〇〇)、▼三が基本給の政府決定と共に解消するものと見られ、現在の出炭量一人平均六トン強で基本給五

十圓、三十五圓では致し方ないと見られてゐる

田人村二〇、九五二(五一)、(二二、〇〇〇)、▼入遠野村二二、二二八(一、八二〇)、
(二二、〇〇〇)、上遠野村八八〇(三、八〇〇)、▼赤井村一、〇〇四(四、四〇〇)、▼上小川村六、七二〇(六、〇〇〇)

▼川部村一、二八〇(五、〇〇〇)、▼山田村六五二(一四、〇〇〇)、▼植田町四〇〇(三〇〇)▼湯本町二九六(六〇〇)、▼渡邊村七二〇(一、一〇〇)計七萬四千六百四十四俵(十八万八千百俵)

平農業會では郡農業會支部と協力農民の増産に報いるため豊年祭を計画中であつたが愈々學年祭を開き決定するが農產物

に内定十二月中旬を期して盛大に行ふ事となつた、行事は近く委員會を開き決定するが農產物

はかるが、當分の間個人賣りを實施することとした、時間は、

朝七時から、午後一時まで、午後一時がら、同三時迄の二回と

はかるが、既に各部落の青年團では毎夜練習に余念なく市内農家

の初の豊年祭とはりきつてゐる

澤山のプログラムを企圖してゐるが、既に各部落の青年團では

毎夜練習に余念なく市内農家の初の豊年祭とはりきつてゐる

澤山のプログラムを企圖してゐるが、既に各部落の青年團では

毎夜練習に余念なく市内農家の初の

